

犀川砂防事務所 85年の歩み

1939年に県砂防課の設置とともに、旧陸郷村字小泉（現・安曇野市明科南陸郷）に犀川砂防事務所が開設されてから85年……。犀川砂防事務所は県内3砂防事務所（他に姫川、土尻川）の中で最も歴史があり、長く地域の安全・安心を守ってきた。管内における最初の砂防工事は、1883年に明科町蜂ヶ沢で着手された直轄事業にまでさかのぼり、以来、多くの整備事業を進めている。

長い歴史を持つ犀川砂防事務所の管轄は、3市1町3村にまたがり、南北30km・東西23km、面積にすると約379.37km²に及ぶ。管内の多くは急峻な山間地であり、大小の断層が幾重にも重なる脆弱で複雑な地質のため、古くから土砂災害や地すべりが多発してきた。そのため、犀川砂防事務所の設置時には地元住民が大いに喜び、地元漢学者・帯刀三枝一氏が書した漢詩の掛け軸を寄贈するほ

どだった。また、85年という長い歴史を持つ同事務所は今年1月、2022年から行っ

管轄エリア

県中央部の北側に位置し、松本市、大町市、安曇野市、池田町、麻績村、生坂村、筑北村にまたがる。大部分は山地であり、犀川などの大きな河川沿いには谷底平野や段丘、扇状地などの低地が発達。管内には糸魚川―静岡構造線が走り、大小の断層が幾重にも重なるため、地質は複雑であり、風化や崩壊しやすい特徴を持つ。



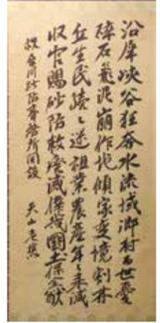
初代事務所



2代目事務所

漢詩

地元住民が寄贈した漢詩の掛け軸。土砂災害に苦しめられていた地域の現状と、砂防事務所への期待が書かれている。住民の砂防に対する認識を後世に伝えるものとして、現在も所長室に掲示されている。



犀の峡谷にそいて水は狂奔す／流域の郷村百世憂える／石を砕き泥を飛ばし崩れ地となる／家傾き境変わりて林丘を割く／生民続々と祖業に迷ふ／農産は年々減取を来たす／官腸の砂防削減するを救心／偉なる鐵錐を国土を保全す

祝 犀川砂防事務所設立 85周年 & 新事務所竣工

CER Constructional Engineering Research
株式会社 **中央工研**
代表取締役 矢ヶ崎 恒 夫
松本市大字島立978-1 TEL0263-47-8631 FAX0263-47-8632

土と水と緑の
技術で社会に貢献します。
JCE 国土防災技術株式会社
長野支店
支店長 藤井 雄次
長野支店／長野市稲葉826番地1 TEL026-221-1767 FAX026-221-0652 <https://www.jce.co.jp>

測量・設計・コンサルタント・調査
Civil Engineering Consultant
株式会社 **アズミエンジニア**
代表取締役 吉竹 行仁
大町市大町3276-1 TEL0261-22-4575 FAX0261-22-0698

建設コンサルタント
株式会社 **長野技研**
代表取締役社長 中嶋 孝満
松本市新村2326 TEL0263-47-7677 FAX0263-47-6503

地域の皆様と共に50周年
地質調査・建設コンサルタント・測量・防災工事一式
総合地質コンサルタント株式会社
SGC Synthesis Geology Consultant
代表取締役 大久保 健
〒381-2215 長野市稲里町中氷鉦1085-7 TEL026-284-0155 FAX026-284-0177

建設コンサルタント
株式会社 **ア ndër**
代表取締役 坪井 利幸
松本市島内3481-1 TEL0263-48-0480 FAX0263-48-0009

犀川砂防事務所85年の歩み

犀川砂防事務所管内は脆弱な地質で昔から多くの土砂災害が発生していたが、伊勢湾台風以降、多くの人命や財産を失うような大きな災害には見舞われていない。これは同事務所が防災、減災の観点から進めてきた多くの整備事業の賜物である。地域住民が安全で、安心して暮らせるために同事務所が行ってきた歩みを振り返る。



犀川砂防事務所スコットキャラクター「サーロ」

Check 1987

「圧巻の技術 必殺の六つ巻き」
コンクリートやモルタルを使用せず、石同士を噛み合わせて積み上げていく空石積み。空石積みの中でも、1つの石の周りを6つの石で取り巻いて積み上げていく「六つ巻き」は、とても高度な技術を要する工法。



歴史 NO.1

2014年から機能強化を図るため既存堰堤の補強や堰堤の新設、深溝保全工などの再整備を実施。往車道や歩道も整備し、深溝一帯が砂防目的の場や観光資源になることも目指している。

2014年から機能強化を図るため既存堰堤の補強や堰堤の新設、深溝保全工などの再整備を実施。往車道や歩道も整備し、深溝一帯が砂防目的の場や観光資源になることも目指している。

1号 型式:石積堰堤 堤高:4.2m 堤長:10m 工期:1887年
2号 型式:石積堰堤 堤高:3.8m 堤長:12.3m 工期:1887年
3号 型式:石積堰堤 堤高:4m 堤長:15.3m 工期:1887年
4号 型式:石積堰堤 堤高:6.8m 堤長:15.3m 工期:1887年

1887年に施工された石積堰堤。現存している4基の堰堤は当時のままの姿で残っている。明治期の高度な石積技術と、治水理論の特徴を備えた歴史的砂防施設として、国の登録有形文化財に指定されている。

1971



堤体積 NO.1

東条砂防堰堤 (筑北村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:28m 堤長:130m
工期:1967-1971年
1958年、59年の台風災害で甚大な被害が発生したため、大型砂防堰堤を施工。堤体積約42,600m³は、管内No.1。

1963年 現住所に2代目犀川砂防事務所を新設、黒部ダム完成
1959年 伊勢湾台風発生
1939年 犀川砂防事務所開設、第二次世界大戦勃発
1926年 昭和元年
1912年 大正元年
1897年 砂防法制定
1883年 朝科町蜂ヶ沢で直轄事業が始まる

Check 1981



布宮砂防堰堤 (大町市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:19m 堤長:75m
工期:1975-1981年
河床勾配が急で、堤岩盤が出たため、コンクリート量を削減する目的で、本堤及び副堤の基礎を段切りした工法(カットオフ)を採用。水叩き勾配をつけて施工した。

1958年、59年の台風災害で多量の土砂が流出したため、大型砂防堰堤を施工。右岸側は基礎地盤となる硬い支持層が深かったため、深掘削や4層杭による基礎処理が施されている。犀川砂防管内では最も堤長が長い。

Check 1970



永井砂防堰堤 (筑北村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:19m 堤長:159.8m
工期:1967-1970年

1962年7号台風で甚大な被害を受けた旧西沢村。また、年間降水量が少なく幾多の水不足にも悩まされてきたため、大型砂防堰堤の建設は地元住民の急務となっていた。副堤右岸は岩盤で、河床と左岸は河床堆積物層が厚く、増し支持力不足が懸念されたため、コンクリート重力式とロックフィルスを併用した全国でもまれな複合型構造になった。

1992



大沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:6.5m 堤長:25m
工期:1987-1992年
1959年の集中豪雨で多大な被害が出たことより、大沢砂防堰堤を建設。地域の治山治水、水利用に貢献している。

1998年 長野オリンピック開催
1983年 平成の大合併(県内120市町村から77市町村に再編)

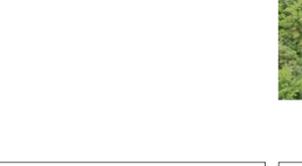
Check 1986



室沢砂防堰堤 (麻績村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:25m 堤長:128m
工期:1980-1986年
室沢川では1958年の台風、翌59年の伊勢湾台風により甚大な土砂災害が発生し、地域住民の長年の懇願のもと、大型砂防堰堤として施工。

1999年 平成の大合併(県内120市町村から77市町村に再編)
2003年 犀川砂防事務所管内の砂防工事はここから始まった
県下屈指の天井川による土砂災害を防ぐための戦いは明治時代から始まり、解消までには約100年を必要とした

Check 1999



蜂ヶ沢砂防学習公園 (安曇野市)
型式:流路工
工期:1986-1999年
蜂ヶ沢は上流跡地から押し出した土砂により天井川が発生し、最大高さ20m、最大幅60m程度と県内でも類を見ない大きさであったため、国道19号も天井川の下をトンネルで架けているほどであった。そこで天井川の抜本的対策として、1986年から土流に堰堤を設置し、下流には流路を切り下げる大規模な砂防工事が実施された。これにより1992年に天井川を解消し、1999年には、この砂防の歴史を後世に伝えるため、「蜂ヶ沢砂防学習公園」として整備した。

2003



長畑砂防堰堤 (大町市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:30m 堤長:99m
工期:1994-2003年
1983、85年に多数の床上浸水被害を出したことより、長畑砂防堰堤を施工。堤高は管内でもベスト10に入るほどの高さ(2025年現在)

2011年 東日本大震災 長野県北部地震発生
2014年 令和元年 台風19号災害

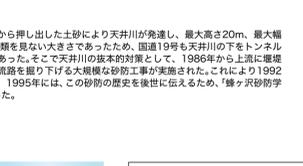
Check 2003



日岐沢砂防堰堤 (生坂村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:12.5m 堤長:68m
工期:2012-2014年
基礎地盤の強度が低かったため、セメント系固化材を地中に噴射し、強制的に原位置の土と固結混合をした改良地盤の上に堰堤を築いた。

2016年 令和元年 台風19号災害
2018年 令和元年 台風19号災害

Check 2016



大林沢砂防堰堤 (生坂村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:12.5m 堤長:52m
工期:2014-2018年
砂防ソイル/セメント工法を採用することで現場発生土を有効活用。本堤と副堤右岸は地山への侵入を助けた地盤対策工を試行実施し、大規模な崩壊を不要とした。

2011



小橋沢砂防堰堤 (安曇野市)
型式:コンクリート重力式・部分透透型
堤高:10m 堤長:55m
工期:2009-2011年
上手木戸沢は2004年の台風時に、住宅の床上浸水、農地への土砂流入などの被害が発生。コンクリートによる基礎の置き換えをしている。

2019年 令和元年 台風19号災害
2021年 令和元年 台風19号災害

Check 2011



干草川砂防堰堤 (麻績村)
型式:コンクリート重力式・透透型
堤高:9m 堤長:70m
工期:2014-2016年
鋼製透透型堰堤で、約1km下流に鋼製スリットによる透透型堰堤があり、流水による橋の閉塞や土砂の置き上げを防止している。

2020年 令和元年 台風19号災害
2022年 令和元年 台風19号災害

Check 2020



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

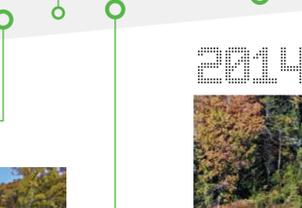
2016



千草川砂防堰堤 (麻績村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:20m 堤長:137m
工期:1999-2007年、2019年
砂防堰堤は土石流等の落下によるコンクリート表面の摩耗や損傷を少なくするため、通常は下流側の勾配を急、上流側を緩くするが、本堰堤では越流部は前述のとおりとし、岸部は下流側の勾配を緩く、上流を急流とし、コンクリート体積の削減を図っている。2019年から始まった第二期工事では、堤高28m、堤長149mに差し上げた。

2021年 令和元年 台風19号災害
2023年 令和元年 台風19号災害

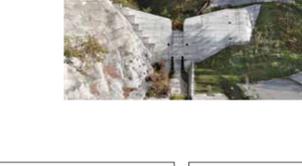
Check 2016



北湯沢砂防堰堤 (池田町)
型式:コンクリート重力式・透透型
堤高:6.5m 堤長:54m
工期:2021-2022年
安全対象の集落からとても近い位置に建設された砂防堰堤。I C下流側の他にも、人力のみで掘削可能な軽量鋼製特殊型材料を用いるなど生産性向上や省力化に努めた施工を行った。

2022年 令和元年 台風19号災害
2023年 令和元年 台風19号災害

Check 2022



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

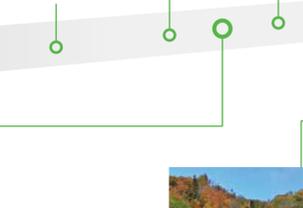
Check 2007



枅平砂防堰堤 (筑北村)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:20m 堤長:137m
工期:1999-2007年、2019年
枅平砂防堰堤は田中康夫県政時代に堤高を当初予定28mより低い20mで建設された。しかし地元住民からの強い要望があり、堤高を当初予定の28mに差し上げた。第二期工事が始まった。

2021年 令和元年 台風19号災害
2023年 令和元年 台風19号災害

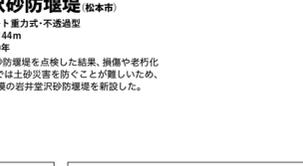
Check 2022



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

2022年 令和元年 台風19号災害
2023年 令和元年 台風19号災害

Check 2023



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

Check 2022



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

2022年 令和元年 台風19号災害
2023年 令和元年 台風19号災害

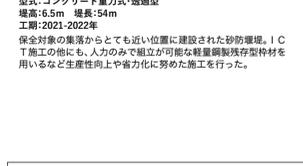
Check 2023



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

2023年 令和元年 台風19号災害
2024年 令和元年 台風19号災害

Check 2024



岩井堂沢砂防堰堤 (松本市)
型式:コンクリート重力式・不透透型
堤高:7m 堤長:44m
工期:2019-2020年
1959年完成の砂防堰堤を点検した結果、損傷や老朽化が著しく、補修では土砂災害を防ぐことが難しいため、その下流に同規模の岩井堂沢砂防堰堤を新設した。

山崎建設株式会社
YAMAZAKI CONSTRUCTION CO., LTD.
代表取締役 山崎 徳彦
安曇野市明科七貴8406 TEL0263-62-2239 FAX0263-62-5485

株式会社 堀内組
代表取締役 堀内 千一郎
安曇野市明科七貴8914-1 TEL0263-88-2325 FAX0263-88-5697

☆☆ 平林建設株式会社
代表取締役 平林 慶則
東筑摩郡生坂村5523 TEL0263-69-3121 FAX0263-69-2801

祝 犀川砂防事務所設立85周年 & 新事務所竣工

株式会社 関川組
代表取締役 関川 光寿
東筑摩郡筑北村西条4269 TEL0263-66-2121 FAX0263-66-2215

ENKEN 遠藤建設株式会社
代表取締役 遠藤 清門
北安曇郡池田町2379 TEL0261-62-2346 FAX0261-62-2881

犀川砂防建設業協同組合
安曇野市明科中川手6824-72 TEL0263-62-2248
犀川流域の暮らしを守り、未来を築く

代表理事	株式会社関川組
副理事長	株式会社堀内組
理事	株式会社倉品組
理事	株式会社中山組
理事	株式会社竹内建設
理事	株式会社藤森組
理事	株式会社下内建設
理事	株式会社松澤組
理事	株式会社望月組
理事	株式会社下里組
理事	株式会社高橋組
理事	株式会社小柳建設
理事	株式会社草田組
理事	株式会社石川組
理事	株式会社生越組

株式会社 横内組
代表取締役 横内 好幸
安曇野市明科中川手1209 TEL0263-62-2332 FAX0263-62-3939

株式会社 望月組
代表取締役 望月 昭治
松本市取出473-1番地 TEL0263-64-2167 FAX0263-64-2066

HOKUYO 北陽建設株式会社
代表取締役 原 滋俊
大町市社5377 TEL0261-22-1155 FAX0261-22-9562

有限会社 中山組
代表取締役 中山 英也
東筑摩郡生坂村6315 TEL0263-69-2037 FAX0263-69-2583

株式会社 草田組
代表取締役 草田 章夫
松本市五繁7470-1 TEL0263-64-2168 FAX0263-64-3693



犀川砂防事務所 耐震改修工事完了の報告

長野県建設部 参事兼砂防課長
吉村元吾

犀川砂防事務所の旧庁舎は、建築から60年以上が経過し、老朽化が著しく、耐震基準を満たしていなかったことから早期の改修が望まれていましたが、この度、改修工事が無事に完了いたしました。

あらためて、関係の皆様のご理解とご協力に対し、深く感謝申し上げます。

県内三つの砂防事務所は、それぞれ開設以来80年以上の歴史があり、中でも犀川砂防事務所は昭和14年開設と最も古く、管轄する地域は七つの市町村にまたがり、フォッサマグナの脆弱な地質が広く分布し、過去から多くの土砂災害に見舞われてきた地域の安全・安心の確保のために事業を推進してきました。

これで三事務所の耐震改修が全て完了したことになります。職場環境も大幅に改善され、職員も業務により一層邁進できるものと思います。今後も、地域に根差した砂防事務所を拠点として、頻発化・激甚化する気象災害による土砂災害への備えを、ハード・ソフト両面から着実に進めてまいります。

引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



敷地が狭く、業務を継続しながらの工事は困難を極め、改修完了までに約2年という歳月を要した



ポーチの柱や梁、所長室や会議室の腰壁に県産ヒノキ材を使用



事務所開設時に掲げていたタモ材の看板の裏面を利用して、犀川砂防建設業協同組合から寄贈された。同協組は見にくかった事務所入口の看板も見やすいようリニューアルした。

工事概要：庁舎の耐震化(W造1階・RC造2階 326㎡)
車庫(S造1階 82㎡)外
工期：2022年12月～2025年1月
東側(W造棟1階建て)：所長室、総務課
西側(RC造棟2階建て)：1F砂防課、2F会議室

築60年以上が経過した旧庁舎は木造で老朽化が著しく、耐震基準を満たしていなかった。来庁者や職員の安全を確保し、災害拠点として業務を継続するため、2022年から約2年間にわたり耐震改修工事が実施された。既存の木造1階建て棟には基礎補強や耐震壁の設置が施され、構造評点を1.0以上に向上※。



お披露目式：2025年1月24日、管轄内の3市1町3村の全市町村長、地元県議会議員など多くの来賓を招き、新事務所完成を祝った

災害時の拠点として機能強化 既存棟を耐震化し増築棟を併設

※構造評点 1.0以上「大規模地震でも倒壊しない耐震性能」1.5以上「大規模地震でも倒壊せず、業務継続が可能な耐震性能」



祝 犀川砂防事務所設立 85 周年 & 新事務所竣工

<p>■建築主体工事</p> <p>株式会社 守谷商会</p> <p>代表取締役社長 伊藤 由郁紀</p> <p>長野市南千歳町 878 番地 TEL026-226-0111 FAX026-223-0741</p>		<p>■実施設計</p> <p>有限会社 A&A構造研究所</p> <p>代表取締役 新井 さやか</p> <p>松本本社 / 松本市白板 2-3-40 TEL0263-33-7769 支 社：長野事務所（長野市）・東京事務所（新宿区）</p> 	
<p>■仮設</p> <p>有限会社 岡田興業</p> <p>諏訪市四賀 1898-1 番地 TEL0266-58-6538</p>	<p>■型枠</p> <p>株式会社 井内工務店</p> <p>大町市大町 3941 番地 5 TEL0261-22-1126</p>	<p>■電気設備</p> <p>人にやさしく 環境にやさしく</p> <p>WILTOS 株式会社ウィルトス</p> <p>松本市本庄 1 丁目 1 番 13 号 TEL0263-36-2118</p>	
<p>■山留</p> <p>株式会社 角藤 中南信支店</p> <p>松本市野溝木工 1 丁目 1-1 TEL0263-25-5520</p>	<p>■屋根・外壁</p> <p>株式会社 協和 松本営業所</p> <p>松本市鎌田 1-2-18 TEL0263-25-1315</p>	<p>■塗装</p> <p>株式会社 小川原塗装店</p> <p>松本市鎌ヶ崎 2414-2 TEL0263-72-3893</p>	<p>■鉄筋</p> <p>株式会社 萩野鉄筋加工センター</p> <p>松本市和田南西原 3967 番 70 号 TEL0263-48-0055</p>
<p>■金属</p> <p>有限会社 村山工業</p> <p>松本市今井 4004-2 TEL0263-59-2536</p>	<p>■外断熱工事</p> <p>南信工営株式会社</p> <p>伊那市西春近 2547 TEL0265-72-1212</p>	<p>■建具・ガラス</p> <p>丸山硝子株式会社</p> <p>安曇野市三郷明盛 855-7 TEL0263-77-5640</p>	<p>■内装</p> <p>株式会社 岩野商会 松本支店</p> <p>松本市大字笹賀 7600-24 TEL0263-86-7255</p>